

**「保健医療科学」**  
**第 56 巻 第 4 号 予告**

**特集：電磁界と健康**

巻頭言  新しいエイズ対策に何を期待するか .....	大久保千代次
健康と電磁界 .....	大久保千代次
電磁界の疫学（低周波） .....	益島茂
電磁界の疫学（高周波） .....	山口直人
静磁界と健康 .....	池畑政輝
高周波電磁界と健康 .....	増田宏
電磁界のリスクコミュニケーション .....	長田徹
低周波電磁界と健康 .....	牛山明
電磁界の規制について .....	多氣昌生, 渡辺聡一

**編 集 後 記**

本号は新しい局面を迎えたエイズ対策に関する特集号である。80年代初期に米国において原因不明の疾患が出現し後天性免疫不全症候群、すなわちエイズ（AIDS）と命名され83年には原因ウイルスが発見された。87年には日本人女性のエイズ患者の死亡が報告され、89年にはエイズ予防法が施行された。この30年近い年月の間に診断や治療は著しく進歩を遂げ、予防においても様々な対策が講じられてきた。当院が実施してきたエイズ対策研修は16年目を迎え、これまでの受講者は延べ3,700名を超えた。地域保健従事者のエイズ対策の研修機関として少なからず貢献してきた。ひとつひとつ積み重ねてきた研修を通じて保健従事者が地域における予防活動や検査活動などを地道に行い、エイズ対策の啓発がかなり進んだといえよう。一方ではエイズの社会啓発が浸透するに連れて、ある意味で「慣れ」が生じてしまう、というジレンマがある。ひと頃よりも HIV 感染に対する予防の意識が薄くなってきたように思われる。都道府県においても同様な緩みが生じているためなのか、エイズ対策関連の予算が減額傾向になってきている。現状では、十代への感染拡大が懸念されるなど予防対策の手綱を緩める余地は無く、また関連予算も減らす理由はほとんど存在しない。今後に向けて社会啓発や予防対策の浸透で生じてしまう、ある種の「慣れ」や「緩み」を警戒しながらエイズ対策を着実に進めていきたい。

（今井博久）

## 「保健医療科学」 投稿規程

### 1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上, 普及に資する研究, および活動報告とし, 「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する (掲載は無料). ただし, 他誌に発表 (予定も含む) された論文は掲載しない.

### 2. 種類, 内容及び制限項数

論壇 (Commentaries)

: 公衆衛生および社会福祉の活動, 政策, 動向などについての提案, 提言 [5頁以内]

総説 (Reviews)

: 研究・調査論文の総括及び解説 [12頁以内]

原著 (Original Articles)

: 独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

ノート (Notes)

: 原著に比べて簡単に若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料 (Research Data)

: 調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

現場報告 (News from the Field)

: 国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践, 教育, 研究などの報告 [5頁以内]

レター (Letters)

: 掲載論文に対する意見など [1頁以内]

書評 (Book Reviews)

: 公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

\*なお, 刷り上り1項は2,600字相当

### 3. 発行頻度

年4回発行し, 4号分をもって1巻とする. また必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する.

### 4. 投稿方法

「投稿申込書」 (様式1) を添えて, 原本ならびに明瞭なコピーを2部提出する. なお, 原図, 写真などは汚損を避けるため別にコピー2部を提出する.

なお, 執筆要領については別に定める.

### 5. 原稿採否

投稿論文の採否は, 複数の専門家による査読の結果に基づき, 編集委員会にて決定する.

### 6. 別刷り

50部までは無料. 51部以上は著者負担とする. また掲載誌1部を贈呈する.

### 7. 校正

著者校正は初校までとし, 脱落, 誤植などの校正とする. 原文および図表等の大幅な訂正などは認めない.

### 8. 出版権

本誌の出版権は本院に属する. なお, 他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする.

### 9. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

TEL. 048-458-6209 FAX. 048-469-0326

(平成17年2月3日)